



学校便り

# 切原っ子

令和元年 6月 20日  
佐久市立切原小学校

No. 3

## 校長講話（切原地区自由参観において）

～『桃李成蹊』と『PTA役員検討委員会』～



6月1日（土）は、切原地区自由参観日でした。地域の皆様、保護者の皆様に、大勢ご来校いただき、子どもたちの学習の様子を参観していただきました。誠にありがとうございました。

た。この参観日では、校長講話もあり、主に二つのことについてお話がありました。

一つ目は、校長先生の学校づくりについての思いです。講話を行った視聴覚室には『桃李成蹊』という言葉が掲示されています。（上の写真参照）『桃李成蹊』とは、「桃や李は美しい花を咲かせ、おいしい実をつける。すると、それらにひかれて人々が集まってくる。そのために、そこには自ずと蹊（ケイ、こみち）ができる」ということから、「徳のある人は、何も言わなくても、その徳を慕って人が集まってくる」という意味です。校長先生は、切原小を桃李にたとえ、子どもたちが切原小の魅力にひかれ、楽しみに集うそんな学校にしていきたいという思いを話してくださいました。

表1 本年度の地区別児童数

地区	上小田切西	上小田切	中小田切	湯原	湯原新田	滝	北川	合計
児童数	11	8	12	12	5	9	35	92
学年別内訳	1年	0	1	3	1	0	4	9
	2年	3	0	1	0	0	9	15
	3年	0	0	4	3	1	7	19
	4年	2	4	2	3	1	5	17
	5年	1	1	0	1	0	5	9
	6年	5	2	2	4	3	5	23

来年度 入学予定者 3 0 0 1 2 0 14 20

※入学予定者・・・あくまでも予定です。確定した人数ではありません。

表2 本年度の地区別家庭数(1～6年)

地区	上小田切西	上小田切	中小田切	湯原	湯原新田	滝	北川	合計
家庭数	10	6	7	9	4	7	30	73

二つ目は、少子化にともなうPTA役員選出の検討についてです。本年度の切原小学校の児童数は92名。とうとう100名を切ってしまいました。地区ごとの児童数を見ると、その数はまちまちであり、寂しさや不安を抱いている方も多いのではないのでしょうか。（表1参照）次に、表2をご覧ください

さい。地区ごとの家庭数です。地区ごとの数には大きな差が生じており、今後、その数がさらに開くことが予想されます。そうすると、地区行事の活動ができにくくなったり、地区役員さんに大きな負担となったりすることが予想されます。そこで、今年度、PTA役員検討委員会を発足させ、PTA役員選出方法や地区割等について検討していきたいということをお話していただきました。

本格的に8月より検討していきますが、この件につきまして、ご理解いただくとともに、ご意見、ご質問などを寄せていただけたら有難いです。

## 6、7月の主な予定

日 曜	学 校 行 事	児童保健関係	P T A 関 係
6月 26日 (水)	佐久市合同音楽会 (6年)		
27日 (木)	裏山下草刈り (5、6年)		下草刈り (学校支援員)
28日 (金)	全校5時間授業 (臼田地区学事職員のため) <b>下校 15:00</b>		
7月 1日 (月)		体重測定 (高)	
2日 (火)	口座振替日、クラブ	体重測定 (低)	
3日 (水)	臼田公民館体験教室 (3年)		
4日 (木)	社会見学 (6年)		
5日 (金)	参観日、給食試食会 <b>下校 13:55</b>		救急法講習会
9日 (火)	児童会		
10日 (水)	5年キャンプ① 口座振替日		
11日 (木)	5年キャンプ②		
12日 (金)	5年休業日		
17日 (水)	この日より24日まで5時間授業 <b>下校 15:20</b>		
19日 (金)	スクールカウンセラー来校 (9:00~12:00)		
25日 (木)	1学期終業式 集団下校 <b>下校 15:10</b>		
26日 (金)	夏休み (~8月21日)		

## お願い・・・車での送迎について一考を！

最近、登下校時、お車での送迎が目立つようになりました。不審者対策や登下校時の安全などを考えると、お車で我が子を送迎したくなるお気持ちはよくわかります。ご家庭の事情によっては、送迎をしなくてはならないお家もあろうかと思えます。ただ、考えていただきたいことがあります。それは以下のようなことです。

- ①我が子だけでなく、友だちと一緒に乗せること
- ②歩いて登校させたいと願っているお家の方もいること
- ③歩くことは体を丈夫してくれること
- ④歩くことによって、四季の移り変わり等を体感し、感性豊かな子どもに育つようになること
- ⑤子どもたちの安全を見守ってくださっている見守り隊の方々がいること 等

特に①ですが、下校時、歩かずに、自分や友だちのお家の方の車を途中で待ち続けている子どももいるようです。また、仮に、我が子の友だちを乗せていて事故に遭ってしまったら、きっと自分の家族だけでなく、友だちのご家族も深い悲しみに陥ることでしょう。

お子さんを送迎しなければならないときはあります。逆に送迎をしない方がよいときもあると思えます。子どもたちが健康でよりよく育つことを我々は願っています。車での送迎についてご家庭でも一考していただけたら有難いです。